

トライスくん



甲府昭和高校生徒会  
マスコミキャラクター

# TRY SHOWA

甲府昭和高校通信

URL <http://www.syowah.kai.ed.jp/>

山梨県立甲府昭和高校

平成31年3月1日

第 50 号 発行

電話 055-275-6177

FAX 055-275-2594

祝卒業  
第33期生  
278名

平成31年3月1日、山梨県立甲府昭和高等学校第33期生、278名が学び舎を巣立ちます。

卒業おめでとうございます。これで、創立以来の卒業生は、10498名を数えます。

「大いなる人に」なることを目指して、我が道を開きながら、未来に向かって進んで下さい。

卒業生の将来の夢 TRY 社会に貢献する



# 探究的な学習

新しい時代に求められる力を  
高めるための学習活動

本校では、「総合的な学習の時間」を中心に、問題解決的な活動が発展的に繰り返される探究活動を行っています。その一例として、2学年で11月に行った「沖縄研修旅行」の学習活動について紹介します。また、2月には、1・2学年合同で、昭和町議会議員等を講師にお招きして、各学年のテーマに基づき、「総合的な学習の時間」の成果発表会を行いました。

## ①課題の設定

この沖縄研修旅行を通して、継続発展的に探究できる内容を4から5名ほどのグループに分かれて、生徒自らが問題意識を持ち設定しました。設定する際には、沖縄の社会や歴史に直接関わる内容や、体験活動することにより、深められる内容について、各教科・科目で身に付けた知識・資質・能力を積極的に活用することなどを基本としました。



## ②情報の収集

班やクラスで見学する場所について、インターネットや旅行ガイドブック、書籍などを活用して、設定したテーマについて調べていきました。調べながら、新たな発見や気づきがあったら、ブレインストーミングの手法で班ごとに発想やアイデアを自由なムードの中で発展させていきました。また、学年全員で、外部講師による平和教育の講話や戦争学習用のDVDを鑑賞しました。



## ③整理・分析

実際に沖縄に行くことにより、各自が設定した探究テーマの情報や内容について分析をしました。旅行前に調べたことと実際旅行の体験を対比させて、事前の考えや予想との「ずれ」や「隔たり」、あるいは新たな発見などを検証していきます。また、体験から感じ取ったことを整理・表現するため、その場で「旅行のしおり」にメモをしていきました。



## ④まとめ・表現

実際の旅行の体験をもとにして、事前に設定したテーマについて、再構成して省察した内容をポスターセッション形式で発表しました。旅行前の仮説との比較や旅行中に新たに生まれた課題を明確にしながら、発表しました。また発表の際には、目標達成ができたかの自己評価や他者の発表の評価をシートに記入していきました。



### 班ごとのテーマ（一例）

- 沖縄における自衛隊と米軍 ～彼らはどのように共存しているのか～
- ひめゆり学徒隊について ～彼女らの願い～
- 沖縄の環境「海の魅力」 ～私は思った。あの海を守りたいって～

- 沖縄そばとソーキそばの違い
- 山梨vs沖縄 ～フルーツ王国はどちらだ～
- 米軍基地が返上されたら何ができる？ ～予想や考察～

## 全日本ボクシング選手権で仲田幸希七(1年)選手が準優勝



### 仲田さんの感想です

初めての全日本大会でとても緊張しました。5回勝たないと優勝できない非常にハードな大会でした。全国大会なので、強い選手がたくさんいて、ここまで勝てるとは思いませんでしたが、決勝まで進んだからには正直優勝したかったです。私の得意技は、相手選手に接近しながら、自分の距離感を保ちながら、パンチを連打することです。来年の大会では、絶対に全国優勝したいです。

12月20日(木)から24日(月)において長崎県立総合体育館で行われた「第17回全日本女子ボクシング選手権大会」の女子ジュニアフライ級において、女子ボクシング部の仲田幸希七さん(1年・上条中)が準優勝をしました。

仲田さんは、お父さんのボクシングジムの関係もあって、小学一年からボクシングを始めました。普段は、学校の部活動で2時間、家に帰ってジムで1時間半と毎日3時間半の練習を行っています。女子ボクシングはインターハイ大会がないため、事実上この大会が女子の最高の大会になります。

仲田さんは、将来は、スポーツ関係の職業に就きたいという夢を持っています。具体的にはまだ決まっていませんが、スポーツを教えるインストラクターの仕事をしてみたいと将来の希望を語ってくれました。



## 2年猪又君が全国クラシック音楽コンクール声楽部門に出演

2年の猪又光貴君(城南中)が12月3日に東京都の大泉学園ゆめりあホールで行われた第28回日本クラシック音楽コンクール全国大会、声楽部門高校男子の部に出演しました。今回歌った曲は「non piu andrai」(「フィガロの結婚」から)というイタリアの歌曲です。猪又君は声楽を高校に入学してから始めました。きっかけは高校1年の時、祖母の知り合いの音楽の先生が偶然猪又君の歌を聴いて、「声楽に向いている」と言われて始めたそうです。現在は、自宅で1時間半ほど自分一人で練習をしています。猪又君は、将来は中学校の音楽の教員になることが夢です。

